

# 市民活動・虎の巻

研究テーマ 『適した資金調達手段の選び方』

資金調達的手段は大きく分けて「会費・寄付」「事業収入」「補助金」の3種類ありますが、皆さんの団体の収入割合はどうなっているか把握していますか？それぞれの手段に特性がありますので、長所短所を理解した上で資金調達の狙いと照らし合わせて手段を選び、組み合わせることが大切です。また、団体運営に経常にかかる経費(人件費、事務所費など)は安定的な財源で賄うことが鉄則です！戦略を持った資金調達によって、活動の持続・発展を図りましょう。

<p><b>会費・寄付の割合が多い場合</b></p> <p>突発的な支出に備えて無理のない範囲で事業収入を得てもいいかも。団体に蓄積された専門知識やノウハウを事業に換えることで社会貢献にも繋がります。</p>	<p><b>事業収入の割合が多い場合</b></p> <p>受益者との繋がりが強化と運営安定化のため会費の割合を増やしてもいいかも。また、営利組織への転換が団体運営として適当な場合もあります。</p>	<p><b>補助金の割合が多い場合</b></p> <p>補助金事業を会費寄付や事業収入の増加に繋がられていますか？健全な収入割合へ近づけることを意識しましょう。</p>
---	--	---

<p><b>会費・寄付</b></p> <p>用途の自由度 <b>高</b> 安定性 <b>高</b> 調達効率 <b>低</b></p> <p>団体のミッションへの「共感」を会費寄付に繋げよう。寄付しやすいように少額、単発からでも可能にしたり、ネットからの受付体制を整えることも大事。</p>	<p><b>事業収入</b></p> <p>用途の自由度 <b>高</b> 安定性 <b>中</b> 調達効率 <b>中</b></p> <p>社会課題の解決(ミッションの達成)に繋がる「商品」を企画しよう。魅力的な商品は団体の認知拡大にも貢献。モノ・サービス・イベント・情報など商品の切り口はたくさん。</p>	<p><b>補助金</b></p> <p>用途の自由度 <b>低</b> 安定性 <b>低</b> 調達効率 <b>高</b></p> <p>通常活動には使えない。新事業に取り組むとき、活動を飛躍させるとき、組織を改革するときに活用。金融機関からの借入、クラウドファンディングも同様の性格。</p>
---	--	---

※用途の自由度…使用用途の柔軟さ 安定性…年度毎の変動の割合 調達効率…短期間で資金を調達する比率

we can do it!

私たちは **〇〇ができます!**

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん！困りごと、協力してほしいことはありませんか？私たちが力になりますよ！

information

**センターからのお知らせ**

**賢い補助金の使い方大公開!**

～補助金活用のノウハウをシェアします～

補助金を活用して市民活動に取り組んだ団体による成果発表を通し、有効な補助金活用方法や活動のノウハウを共有し合う機会を設けます。参加して来年度の活動のステップアップを図りましょう！これから活動を始めようとしている方の参加も大歓迎です。

日時 2020年2月22日(土) 14:30～16:30

会場 シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3階 市民交流ホールB・C

申込 2月14日(金)までに FAX・メール・電話にて 長岡市市民協働課へご連絡ください

お問い合わせ TEL. 0258-39-2291 FAX. 0258-39-2308 長岡市市民協働課 Mail. simin-kyodo@city.nagaoka.lg.jp

「K-BOX」は、心の病・生きづらさを持つ方への講演や、パフォーマンス披露ができます!

心の病を抱えた方や引きこもりの方がアーティスト・タレントとして所属するプロダクションです。苦しんでいる方の回復に向けて、本人やご家族への講演会を有償で行っているほか、イベント出演や作品出展もしています。

協力してほしいこと

- ・ライブやイベントのボランティアスタッフ
- ・ステージ用衣装の制作

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!

協働センター Q&A

よく寄せられるご相談

Q. 寄付・会員がなかなか増えません

A. 寄付者が重視するのは「活動への共感、期待」「寄付金を有効に使ってくれる透明性」ですので、この点をしっかりとアピールすることが大切です。

Q. クラウドファンディングって何？私も使える？

A. クラウドファンディングとはインターネット上で不特定多数の人から資金を調達する仕組みです。市民団体の成功事例も多数ありますが、ネット・SNSに精通する協力者が不可欠です。

# らこま

Racotte vol.86 発行●ながおか市民協働センター

2020 2 FREE



インタビュー interview

栃尾の障がい児支援をリードするママ

**星野素子さん**



いつまでも子どもと “わくわく”し続ける元校長先生

**小黑知也さん**

- 活動PickUp!
  - 特定非営利活動法人中越防災フロンティア
  - 竹田元気づくり会議
  - 律谷神楽保存
  - 割烹 野崎家
- 市民活動・虎の巻
- 『適した資金調達手段の選び方』
- 私たちは〇〇ができます!
  - K-BOX

毎週月曜日17時頃から放送中!

**つながるラジオ**

FMながおか 80.7MHz

ながおかの市民活動紹介番組

放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト

**コライト、見ないと!**

https://nkyod.org

協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこまのバックナンバーも閲覧できます。

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！  
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

活動の根っこ  
置かれた場所で  
咲く  
星野素子

星野素子さん(44歳)  
地域活動支援センター キッズサポートむぎ施設長  
1975年、岡山県生まれ。栃尾で、発達障がいなど特性のある子どもたちの居場所を作るために活動する2児のママ。



## 障がい児に居場所を 子どもたちと紡ぐ地域の絆

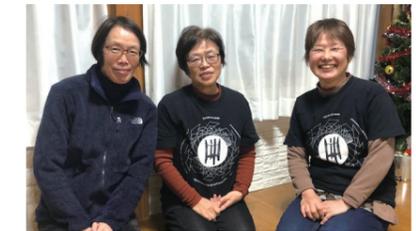
「地域活動支援センター キッズサポートむぎ」の看板が掛かった一軒家。ドアを開けると、子どもたちの作品が飾られた玄関、活動写真が貼られた廊下、おもちゃでいっぱいのある部屋があり、今にも子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきそう。「つむぎ」は、放課後や休日に、発達障がい児や特別支援学級に通っている子どもたちを預かる場所。その施設長が、星野素子さんです。

大学で社会福祉を学び、高齢者施設に勤務した後、結婚を機に栃尾へ。新しい生活に馴染もうと奮闘する中、第二子の障がいが見つかりました。「最初は治そうと努力しましたが、徐々に受け入れようと思うようになりました」。子どもの障がいを受け入れるために必要なのは、母である自分の精神的な余裕。しかし、「その当時、栃尾には障がい児を預けられる場所がありませんでした」。

そんな星野さんを勇気づけたのは、大学時代の

教授の「ないのなら、自分で作ればいい」という言葉。これをきっかけに、「栃尾地域児童福祉を考える親の会」を設立し、長期休暇中に寺子屋学習教室を開催。そして、2016年にNPO法人格を取得したことで、障がいのある人の日中の活動をサポートする地域活動支援センターの運営ができるようになりました。「保護者の方たちからは、安心して子どもを預けて働くことができる、他の子どもたちと交流する場所があって嬉しいという声をいただいています。こうした声や、子どもたちの成長が私のやりがいです」。

星野さんは、目標である放課後等デイサービス開業を目指して、これからも地域と共に一歩ずつ前進していきます。「将来、地域とのつながりが、子どもたちを助けてくれる。彼らが大きくなったときに、栃尾はいいところだと言ってもらえるように頑張りたいです」。



元教員のスタッフの皆さん。「人生経験豊富な皆さんに、いつも助けられ支えられています」と星野さんは言います。

## 子どもへ送る眼差しは生涯現役！ 学校教育から地域教育の担い手へ

和島の子育ての駅「わくわく」の初代駅長を2019年3月まで務めた小黒知也さんは、「わくわく」の刺繍が入ったエプロンの名物先生として子どもたちから人気を集めていました。子どもたちの驚く姿が見たくて実験道具やオモチャを自ら作っては披露してきた小黒さん。教諭、教頭、校長と新潟県内の小学校に34年間勤め定年を迎えた後も、子どもたちの楽しさや驚きとともに好奇心を養っていたいと、変わらぬ情熱で教育に携わり続け、自宅には自作の実験道具が所狭しと並んでいます。

教育者の多い家系だったことから自然と進んだ教員の道。常に心がけてきたのは「実際に手を動かして創意工夫する楽しさを同じ目線に立って伝える」こと。和島地域内の2校が合併して2009年に新設された和島小学校に初代校長として赴任した際は、自らグラウンドにひまわりの種を植えて児童と一緒に育てたり、雪中マラソン大会を企画したりと、新

しい学校が一つの輪となるよう体当たりで取り組みました。

「自分自身も子どもから刺激を貰うし、子どもと一緒に活動をしている時間が一番楽しい」と定年後も求められる限りは現場に携わり、学校教育の枠に縛られない多様な教育機会を提供することを選んだ小黒さん。見附市教育センター在籍時は保育園への出張科学実験や親子向けの理科講座を行ったり、子育ての駅駅長時は自宅から様々な道具を持ち出して施設内に茶室をしつらえたことも。「子どもやお母さんに色んな経験してもらいたかった。多忙だった現役時代よりも私自身、伸び伸びと企画やチャレンジが出来ました」。

駅長を引退したばかりにも関わらず、「地域の宝としての良寛を子どもに伝えることもしてみたいですね」と早くも次を見据える小黒さん。生涯現役の構えでこれからも地域教育を担い続けることでしょう。



子育ての駅「わくわく」を退職する際に職員や利用者から見送られる小黒さん。現年生まれにちなんで、兎の被り物や人形を駆使して子どもたちを楽しませていました。

活動の根っこ  
ふしぎ？発見!!  
創意工夫  
小黒知也

小黒知也さん(68歳)  
元子育ての駅わくわく「わくわく」駅長  
長岡良寛の会 副会長  
1951年、和島地域生まれ。新潟大学教育学部を卒業後、東京学芸大学大学院教育学研究科で道徳教育を専攻する。趣味は良寛研究や家庭菜園。

## 活動PickUp!

特定非営利活動法人 中越防災フロンティア  
除雪ボランティアで交流も広めたい

山古志



中越大震災をきっかけに設立した団体です。コミュニティバスの運行、「やまこし復興交流館おらたる」の委託運営、越後雪かき道場の開催などを行っています。新たに始めた「YUVO(有償除雪ボランティアのマッチング・派遣システム構築事業)」は、除雪を希望する人と、除雪作業が可能な人を繋げるための仕組みです。地域の方や参加者同士の交流も楽しみの一つであるこの取り組みを、これからも広めていきたいです。

生の声は「ラジオ」「コライト」で  
「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

むぐら だに  
律谷神楽保存  
岩戸舞で地域の絆をつなげる

栃尾



栃尾の山間にある40戸ほどの律谷集落では、地元の伝統文化である神楽舞をおよそ300年伝承しています。集落に立ち寄った村松藩のお殿様を歓迎し披露したという神楽舞は、集落内で年長者が師匠として若手に伝えてきました。毎年1月2日には、厄除け、無病息災を願い、獅子頭を付けて舞う「岩戸舞」が集落内の家々を巡ります。この貴重な舞を今後も細くとも長く伝え続けたいと思っています。

竹田元気づくり会議  
無理せず“ぼちぼち”が継続の秘訣

川口



川口地域の中山にある竹田集落で景色の良さを活かしたイベント「かんじきウォーク」の開催や、集落の案内看板の整備、遊歩道の整備などを行っています。中越大震災後7世帯に減ってしまい、「なんか寂しくなったね」という住民の声から始まりました。集落の7世帯、15名で主に活動していますが、「竹田集落が好き」という方であればみんなメンバーだと思っています。これからも無理せず“ぼちぼち”活動していきたいです。

割烹 野崎家  
地域イベントを支える大型駐車場

三島



法事や宴会、忘新年会にご利用いただける割烹で、地域イベントでの駐車場やマイクロバスの貸し出しを無料で行っています。利用者からの「ありがとう」という言葉や、駐車場をご利用されたお客様が後日お食事に来てくださることがやりがいになっており、貸し出しを通して、人や地域とのつながりが生まれていると感じています。今後も貸し出しを継続し、三島や長岡を盛り上げていきたいです。

みんなの声

投稿 随時募集中

投稿テーマ 2020年協働宣言「わたし、〇〇と〇〇始めます！」

投稿方法

- 投稿フォームを使う QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
- 協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

投稿者 るんるんさん

今年こそは友達と長岡まつりの 早朝清掃ボランティアに行きます!

投稿者 オームの法則さん

早く帰ってきて、奥さんと 食器の片づけができるように頑張る。